

御田小だより

～ みんな元気 たのしい 御田小 ～



港区立御田小学校

学校便り

令和3年1月8日 No.9

発行者 御田小学校長

濱尾 敏恵

年頭所感 ～「優しさ」で満ちた日々に～

校長 濱尾 敏恵

新しい年を迎えました。今年も感染症予防を常に意識しながら、置かれた状況下での最善の方法を考え、教育活動を行ってまいり所存でございますので、引き続き、ご理解、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

さて、昨年末のことになりますが、通信教育大手企業が、小学3～6年生を対象に「2020 年あこがれの人」についてアンケート調査を行っていました。約 8000 人の子供たちが選んだ憧れの人トップ10のうち、7人が『鬼滅の刃』のキャラクターだったそうです。そうすると、キャラクター以外の3人は誰だったのか知りたくなるところです。2位が“お母さん”、5位が“お父さん”、そしてなんと4位に“先生”が入っていました。「憧れの人」の存在は子どもの成長を促す大切な要素」と述べる教育者もおりますから、期待に応えられる存在になるよう、気持ちを引き締めていかなければなりません。アニメのキャラクターと実在する人物を同列にすることの賛否についてはさて置き、私は、子供たちが挙げた“憧れる理由”に興味をもちました。私はまだその作品を拝見しておりませんが、各キャラクターの特徴は知り得ないのですが、1位になった主人公“炭治郎”の名前は知っていました。炭治郎に憧れる理由として、「誰にでも優しい」「あきらめずにがんばる」「家族思い」などが挙げられていました。また、“お母さん・お父さん”を選んだ理由は、「優しい、家族のためにがんばっている」、「先生」は、「優しい、わかりやすい」などでした。すでにお分かりかと思いますが、私が、“憧れる理由”に関心が向いたのは、全てに「優しい」という理由が挙げられていたことにあります。

なぜ子供たちは、これだけ「優しい人」に憧れるのでしょうか。それは、自身が優しくしてもらえて嬉しかった体験(疑似体験を含む)は深く心に残り、自身も相手を嬉しくできる「優しい人」になりたいと思い願っているからと察することができます。そしてもう一つの理由として、私は、昨年3月に亡くなった、肢体の不自由な子のための養護施設ねむの木学園の設立者である宮城まり子さんの言葉にあると思うのです。宮城さんは、「やさしくね、やさしくね、やさしいことはつよいのよ」と子供たちに教え続けたといひます。優しい行動を貫き通すには、ときに困難さや自己犠牲を伴うことがあります。子供たちは、日々の生活の中でそれを知り、優しい人こそ勇敢な人であることを炭治郎と重ね合わせ、感じ取っているのかもしれない。

この年末年始、外出を控え、自宅で読書をする時間が増えた方もいらっしゃるのではないかと思います。私もその一人でした。心に残った一冊に、『ひとりひとりのやさしさ』という絵本があります。作者であるジャクリーン・ウッドソンは、2020 年に児童文学のノーベル賞ともいわれる国際アンデルセン賞を受賞しています。人種差別などをテーマにした著書が多く、本校が、人権尊重推進校となってから、ジャクリーン・ウッドソンの絵本を手にするが増えました。

ある朝クローイのクラスに転校生のマヤがやってきます。クローイはみずぼらしい身なりのマヤを友達とともにあざ笑い、マヤが遊びに誘っても冷たい態度をとり続け…。やがてマヤは学校にこなくなってしまう。その日、アルバート先生は「やさしさ」について話し合う授業を行います。先生は、水を入れた桶をもってきて、子供たちを集め、その中に小さな石を落としてみせます。水面にはさざ波が広がりました。そして、こう子供たちに伝えるのです。

「やさしさもこれと同じ。ひとりひとりのちいさなやさしさがこの世界をちょっとずつよくしていくのですよ。」それから先生は子供たちに石を渡し、自分が誰かに優しくしてあげたことを話しながら小石を水の中に落としていくよう伝えます。みんなが次々と石を落としていく中、何も考えつかず、突っ立っているだけのクローイ。先生の言葉にクローイは、マヤに優しくできなかった(強くなれなかった)自分に、深い自責の念に駆られることになるのです。

(『ひとりひとりのやさしさ』(BL 出版)より一部引用)

子供たちのマヤに対する残酷な行為を叱咤するのではなく、「優しさは波及すること」を伝えることで、子供たちに、自身の行為を省みさせたアルバート先生の導きの見事さも印象に残る作品でした。教育に携わる一人として、子供の目線に立って、子供たちの心に響く教育を行っていかなければという思いを新たにする機会にもなりました。

いまだ感染拡大が収まらず、今後の見通しもなかなか立たない状況が続く、不安や憂鬱な気持ちを抱くこともあろうかと思います。そんな今だからこそ、どんな小さな石であってもよいので投げ、「優しさ」の輪を広げ、心温かく、皆で今のときを乗り越えていきたいと感じた年の始まりでございました。

〈人権教育の取組について〉

1年担任 山本 さおり・平 裕子・熊野 歩・野間 美由紀

1年生は、自分のことを大切にするとともに、友達のよさにも気づき、友達のことも大切にできるように指導しています。道徳の時間には、「フワフワ言葉」と「チクチク言葉」について学習しました。相手が嬉しくなったり、温かい気持ちになったりする「フワフワ言葉」を、日頃から進んで見付けて使えるように、各教室に掲示しています。また、道徳の「みんなのはなまる」の学習では、友達のよさを見付けて付箋に書き、友達と付箋を交換する活動を行いました。自己を見つめ、自分自身で気付かなかった自分のよさに気付くことができました。

今後も互いのよさを認め合い、励まし合って学校生活を送れるようにしていきます。

〈書き初め会・書き初め展について〉

油 史枝

毎年、新年には、書き初め会を行っています。書き初めのめあては、新年を迎えたことを喜び、新しい年への抱負を文字に込めて書くことです。

1～2年生は硬筆、3～6年生は毛筆です。3～6年生は、広いスペースでのびのびと文字を書くことができるよう、体育館で学年ごとに行います。

書き初め会で書いた作品は、各教室前に展示し、子供たちが鑑賞します。

〈セーフティ教室について〉

高橋 桃子

毎年ゲストティーチャーを招き、セーフティ教室を行っています。低学年は「不審者に遭遇したときの身の守り方」をテーマに、高学年は「インターネットや携帯電話使用時の危険性に対応策、マナー」をテーマに、ゲストティーチャーに話をいただいています。

例年、ゲストティーチャーが具体的な事例や動画を用いながら分かりやすく教えてくださっています。子供たちは真剣に話を聞き、教わったことからさらに質問をするなど、積極的に学んでいます。

今年度の実施内容について、保護者の皆様には、後日書面にて報告させていただきます。

【中村 美帆子カウンセラー来校日】

1月18日(月)、20日(水)、25日(月)

【芝 薫カウンセラー来校日】

1月15日(金)、22日(金)、29日(金)

〈1月の生活目標〉

言葉づかいに気を付け、礼儀正しくしましょう。

〈1月の行事予定〉

1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	始業式 給食なし 4時間授業
9	土	
10	日	
11	月	成人の日
12	火	安全指導 書き初め会(1・2・3・4年) 給食始 みたルーム始
13	水	B時程 書き初め会(5・6年) 区教研
14	木	計測(6年)
15	金	書き初め展(児童のみの鑑賞) 計測(5年)
16	土	
17	日	
18	月	[全] B時程 計測(4年) 委員会
19	火	避難訓練 計測(3年) [GT]オリンピック・パラリンピック教育 (3年)
20	水	B時程 学校公開(延期)
21	木	[GT]人権教育(5年) 学校公開(延期)
22	金	学校公開(延期)
23	土	土曜授業日 御田小家庭読書の日 セーフティ教室 遊び場開放(PM)
24	日	
25	月	[全] B時程 クラブ 計測(2年) [GT]夢・未来プロジェクト(5・6年)
26	火	計測(1年)
27	水	B時程 [GT]朗読会(3・4年)
28	木	B時程 漢字検定
29	金	たてわり班活動
30	土	御田小家庭読書の日
31	日	

〔全〕：全校朝会 〔GT〕：ゲストティーチャー

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が発出されたことを受け、1月20日～22日の学校公開は見合わせ、3月に延期する予定です。また、書き初め展は児童のみの参観といたします。今後も、学校行事等に変更が生じた場合は、随時お知らせいたします。